

学習内容報告書 フォーマット

学校名	姫路市立家島中学校
授業者	2 学年担当

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

汽水域に住む生体の調査、観察

1-2. 学年

2 学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

家島本島に住む生体を調査し、飼育観察することでその生態を知る。汽水域で見られる生き物の生態を調査し、観察することで地元に住む生き物の特徴を知る。また、水槽を使用し、環境を整備する活動を通して自然の偉大さを知る。また、飼育することで生命尊重の心を育み、命の大切さを学ぶ。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

海に囲まれた環境で生活している生徒たちは、海の生物には興味関心を持ち、知識も豊富である。しかし、汽水域の生物にはあまり興味を持っていなかった。そこで、海に直結している島の汽水域の環境を知ることによって、環境問題に興味を持ち、解決に向け自分たちにできることがないか考えるきっかけとする。また、飼育観察することで命の大切さを学ぶ。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・環境を知り、郷土愛を深める。
- ・身近な環境や生き物からの学びから、視野を広げていく。
- ・生命を大切にする態度。

1-7. 単元の展開 (全 4 時間)

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	島に住む生物について調べる。 ・生息場所 ・飼育環境	教師の指導／近年獣害が問題になっているが、今回は汽水域に住む小さな生き物について調べさせる。 主な評価／情報活用能力、学び方ものの考え方 使用教材／chromebook、書籍
1	飼育環境を作る	教師の指導／調べた飼育環境をもとに水槽の準備をする。 主な評価／情報活用能力、学び方ものの考え方 使用教材／水槽、水槽用備品
1	生物の捕獲。 環境を知る。 生態系について理解を深める。 ○水辺や側溝など学校の周辺	教師の指導／活動内容の周知、安全の確保、環境保全。 主な評価／情報活用能力、学び方ものの考え方 使用教材／軍手、虫かごなど、デジタルカメラ
	飼育環境の改善 ○飼育の失敗などから学び、より長く飼育観察できる環境を作る。	教師の指導／改善の目的や趣旨の説明 主な評価／協同的な探究活動、主体的行動力 使用教材／水槽、水槽用備品、清掃道具

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

汽水域の生き物を探したり、生態を知ろうとする中で、環境の大切さ、命や自然の偉大さを感じることができる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
1 本時の活動内容を知る。	教師の指導・支援／活動が安全に進むよう支援する。
2 前回の反省点を共有する。 	教師の指導・支援／水槽内の環境をより生息地に近い環境に近づけられるよう助言する 評価の視点／関心意欲態度、情報活用能力
3 水槽の清掃を行う。 ○一度きれいに清掃し、あらためて飼育環境づくりを行う。	教師の指導・支援／安全に作業できるように支援する。 評価の視点／主体的行動力、関心意欲態度
	
4 水槽内外の装飾や装備を整える。	教師の指導・支援／安全に作業できるように支援する。 評価の視点／主体的行動力、関心意欲態度
	
5 完成した水槽を記録し観察する。 	教師の指導・支援／再度改善の必要が生じる可能性があるため、記録を残す。 改善後の様子を観察し、生態について理解を深める。

3. 今回の活動の自己評価

海に住む生物、特に魚類については興味関心を持っている生徒が多く、知識も豊富である。一方、汽水域に生物には関心が低く、ほとんどの生徒が存在自体意識することがなかった。

水槽という小さな環境でもいろいろ工夫することができた。色々な装備があることを知り、機器の開発などテクノロジーの進歩を体験するとともに、あらためて自然の偉大さを知ることができた。

今回、捕獲、飼育、観察を通して汽水域の環境について興味を持つきっかけとなった。また、環境の保全だけではなく改善について自分たちにもできることを考えるきっかけになった。



4. 今後の課題

生徒数が激減している中、水槽を維持していくための活動時間の確保に課題が残る。

環境をよくするため美化活動を行いたいと生徒から提案があったが、安全確保の点から場所が限定される。今後関係機関とも連携し、環境保全への生徒の思いをかなえていきたい。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特記なし

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。